



## 心に響く歌声

シンガーソングライター

# さかもとふみやさん

大阪を拠点に、全国各地でご活躍中のさかもとふみやさん。そんなさかもとふみやさんに、古里への思い、今後の夢についてお聞きしました。



**ギターを始めたきっかけと音楽の道に進もうと思ったのは何歳の頃ですか？**

**中** 学二年の時、『サイモン＆ガーファンクル』を初めて聴いて、二人のハーモニーの素晴らしさに感動しました。

それで僕も、こんな事がしたい…。そう思い友達と二人で歌い始めたのがギターを弾くようになったきっかけです。

音楽の道に進もうと思ったのは、高校二年生の頃、漠然としていましたが、これで生活出来れば…。っと思っていました。

ただ、当時は自分が歌ってとか考えてなくて、とにかく音楽が出来ればうれしいと思っていただけなんです。

**今まで曲づくりで大変だった事、印象に残っている事はありますか？**

**曲** (メロディー) は意外と簡単にと、言ったら語弊があるかも知れませんが、浮かんで来るのです。

ただ、僕は作詞が苦手で、友人が書いてくれた詩に自分のメロディーを乗せる事が多いです。

昔は、自分で作詞もしていたのですが、僕には作詞の才能が無いと痛感しています。

それで、自分のイメージを伝えたり、時には途中で書いて、後を仕上げてもらい、伝えたい言葉をチョイスして楽曲を完成させる事が多いかな？

**もし、音楽の道に進んでいなければ、どんな職業に就いていたと思いますか？**

**僕** は物を制作する事も好きで、製造業で仕事していると思います。

昔、音楽だけでは生活できない時期があって、当時は溶接工として働しながら音楽活動をしていた事もあります。

**ご自分の曲の中で、一番のお気に入りは何曲ですか？**

**ど** の曲も、それぞれ思い入れがあって、甲乙つけるのが難しいのですが、僕が色んな意味でメジャーデビューするきっかけになった曲『子どもたちの瞳』(ユニバーサルミュージック)は、外せない。

**い** でしょうね。それと、今の自分の気持ちや、古里八幡浜への思い、そして未来への応援歌として歌っている曲『One Last Night』などごしょうか？

あ、一曲じゃなくなっちゃいましたね。(笑)

それぐらい、選ぶのは難しいです。

**中国への文化交流団の一員として中国で演奏されたことがありますが感想は？**

**中** 国には、二度行かせて頂きました。

一度目は、自分が小さい頃にタイムスリップしたように、錯覚する感覚がありました。

当時まだ発展途上の段階で、上海から蘇州に向かう途中で車中から見た光景です。一軒の家に道にまで人



が集まっています。何をしているかと思えば、その家にはテレビがなくて、それを見るために自転車で乗ってそこに集まっていたのです。そしてコンサート会場に着いたのは夜中になっていたのですが、日本でいう県知事さん達が、一緒に来て機材の搬入を手伝ってくれました。その中には、自転車でも二時間かけて帰宅する方もいました。贅沢な暮らしに慣れてしまっていた自分に、忘れていたものを感じ出させてくれた旅もありました。

二度目は、天安門事件のあった直後の訪中でした。周りからは、延期の声も上がったのですが、政治と文化は別と思い、行く事を強行したのです。日本での情報と、中国国内での情報の違いに、愕然としたのを覚えていてます。

ただ、どちらのコンサートもテレビ放映されていて、街で知らない人が

に良かったと言って頂けたのが救いでした。

**おしゃやかな帽子をかぶられていますか、帽子は何種類ほどお持ちですか？また、普段もかぶられていますか？**

**帽** 子は10個くらい持っています。実は、年齢には勝てず年々薄くなっているのです。(涙)

昔は、普段は着用してなかったのですが、大先輩でもあり恩師でもある『故・島田和夫』(EX憂歌団)さんに、「イメージを大切にしろ!」と忠告され、それ以来普段でもかぶるようにしています。

**今まで活動してきて、楽しかった事、つらかった事があればお教えてください。**

**楽** しい事は、色々な所に行ける事です。しかも観光ではなく、ライブを成功させるという目的で、現地の方々との共同作業をする事と、来て頂いたお客さんから「来て良かった!」ありがとう!」と言って頂ける事は、次への励みになります。

一番辛かった事は、貧乏していた事です。あ、今でも貧乏ですが…。(笑)

**今後の活動予定と、これらの夢をお願いします。**

**呼** んで頂ければ、全国何処へでも、可能な限り歌いに行かせて頂きたいと思っています。

今年は、兵庫県西脇市からスタートし、京都市、堺市、和歌山市と続きます。3月26日には、内子町・小田川ふおーく村へ行かせて頂きます。

みなさん、会いに来て頂けると嬉しいです。また今年も5月には、尊敬する大先輩『りい+洋土』さんとツアーも決まっています。

9月18日には、今年が三度目となる『八幡浜みなとまち音楽祭』が、道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」の『みなと交流館』に決定しています。今回のスペシャルゲスト『木村充揮』(憂歌団)さんの出演をはじめ、東京・富山・金沢・京都等、県外からも多くのプロ・アマチュア問わず、音楽を愛する方々に来て頂き、県内のミュージシャンの方々と

幅広い交流ができれば、その出会いの場づくりができればうれしいです。『八幡浜みなとまち音楽祭』が、八幡浜の街に定着し『毎年9月の第三日曜日には、音楽祭があるよ!』と、みなさんに待ち望んで頂けるようなイベントになれば最高です。

**西伊予のみなさんにメッセージをお願いします。**

**み** んなで一緒に音楽を楽しみたい!!そんな古里になればうれしいと考えています。

内子町には『小田川ふおーく村』、そして宇和島市吉田町には『夢の里おんがくどう』、佐田岬には『佐田岬フォーカソング同盟』と、地元で活動している方々そして仲間達がいます。

みんなと一緒に音楽というカテゴリーを利用して『音楽があふれる街、西伊予!』を目指したい。ぜひ、みんな街づくりができますように、みなさまの御協力をお願いします。

さかもとふみやさん



1957年生まれ、愛媛県八幡浜市出身

17歳でライトミュージックコンテストで愛媛県代表に選ばれ、四国大会に出場、3位に入賞する。当時アマチュアながら人気を集めNHK・FM等にたくさんリクエストが寄せられる。

金沢に音楽の仕事で移住後、二度にわたり中国で文化交流団の一員として演奏し、中国のメディアでも大絶賛される。

その後、自分自身の音楽性を求め、金沢→京都→大阪と拠点を移し、更にアグレッシブな活動を展開している。

2014年3月「私のまち八幡浜」を発表。